

様式第8号(第6条関係)



令和4年3月31日

薩摩川内市議会

議長 川添 公貴 様

(会派代表者経由)

会派の名称 公明党

経理責任者氏名 坂口 正幸



政務活動費に係る収支報告書

薩摩川内市議会政務活動費の交付に関する条例第8条の規定により、次のとおり、令和3年度の政務活動費に係る収支報告書を提出します。

1 収入

政務活動費 360,000円

2 支出

(単位:円)

科 目	金 額	備 考
調査研究費	174,460円	11/10~12 青森県六ヶ所村等
研修費		
資料作成費		
資料購入費		
広報費	20,000円	市議会だより発行
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
人件費		
事務費	2,275円	コピー用紙
合 計	196,735円	

3 残余の額

163,265円

注1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

2 領収書、活動報告書その他必要な書類を添付すること。

3 会派に属さない議員の場合は、「会派代表者経由」の必要はないこと。

4 会派に属さない議員の場合は、「会派の名称」は記入しないこと。

5 会派に属さない議員の場合は、「経理責任者氏名」とあるのは「議員の氏名」と読み替えること。

様式第9号（第6条関係）

令和3年3月31日

薩摩川内市議会

議長 川添 公貴 様

会派の名称 公明党

代表者名 中島 由美子



活動報告書

1 調査研究事業

(1) 調査年月日

令和3年11月10日（水）～12日（金） 2泊3日

(2) 調査参加者

中島 由美子、坂口 正幸

(3) 調査先及び調査項目

青森県六ヶ所村 日本原燃六ヶ所再生処理工場

・安全施設の整備状況調査

衆議院会館 経済産業省資源エネルギー庁

・エネルギー基本計画について

・次世代エネルギーの今後の取組みについて

(4) 調査の概要

別紙報告書のとおり

2 研修事業

3 広報事業

市議会だより発行（1月）

4 広聴事業

5 要請・陳情活動事業

6 その他活動

令和3年11月22日

政務調査報告書

薩摩川内市議会
議長 川添 公貴殿

公明党
代表 中島 由美子

下記の通り政務調査を行ったので報告します。

1. 期 日 11月10日～12日
2. 人 員 坂口 正幸 中島 由美子
3. 視 察 11日 青森県六ヶ所村 日本原燃六ヶ所再処理工場
○安全施設の整備状況調査
12日 衆議院会館(経済産業省)
(1)エネルギー基本計画について
2050年カーボンニュートラル実現に向けた課題等
(2)次世代エネルギーの今後の取り組みについて

* 鹿児島県選出国會議員への表敬訪問

詳細については、次ページ以降に示した通りです。

《11月11日》 日本原燃 六ヶ所再処理工場

【対応者】

日本原燃グループ 六ヶ所原燃企画株式会社 サイクル広報事業部 PRセンター
運営グループ
ディレクター 赤坂 猛氏 案内スタッフ 鎌田恵理奈氏 小坂咲子氏

【視察の内容】

- PR館見学
- 安全対策工事状況見学
 - ・主排気筒 竜巻対策工事
 - ・再処理本体用安全冷却設備新設工事
 - ・新緊急時対策所建設現場
 - ・高レベル管理施設(窓越し)見学
 - ・低レベル放射性廃棄物処理施設建設現場(窓越し)



【六ヶ所再生工場の概要】

日本の原子力発電所で使用され終わった使用済み核燃料を集め、その中から核燃料のウランとプルトニウムを取り出す再処理工場である。予定されている最大処理能力はウラン 800t/年、使用済燃料貯蔵容量はウラン 3000t。国際原子力機関の査察を受けている。

茨城県東海村に日本原子力研究開発機構が所有する再処理工場（東海研究開発センター核燃料サイクル工学研究所・最大処理能力：ウラン 210 トン/年）を置換する施設とされ、青森県六ヶ所村の敷地内にはウラン濃縮工場、六ヶ所低レベル放射性廃棄物埋設センター、六ヶ所高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センターが併設して建設されている。今後 MOX 燃料工場の建設も予定されており、核燃料サイクルのための核燃料コンビナートを形成する。

ラ・アーク再処理工場での実機訓練など、核燃料サイクル事業で先行するフランスから技術協力を受けている。

【質疑応答】

Q：現在工事中の低レベル放射性廃棄物処理施設は、完成後何年稼働見込みか。

A：約 20 万本の容量なので今後とも毎年約 1 万本搬入すれば 20 年は受け入れ可能である。

Q：低レベル放射性廃棄物の詰まったドラム缶を圧縮する動きがあるが、圧縮すれば低レベル放射性廃棄物処理場の延命策になると思われるがどうか。

A：従来から発電所で圧縮・減容処理は行われている。

Q：小中高への出前授業はどのような方法で、どのような内容で開催しているか。

A：講師が各学校に出向き、霧箱実験(天然ウランなどから出る α 線の飛跡がドライアイスの霧状の中に見えるという原理)や放射線測定実験などを行っている。

Q：六ヶ所村の全戸訪問を行い、日本原燃の説明を行っているが、日本原燃そのものに反対するケースはないか。

A：過去には反対者が多かったが、近年は理解者が増えている。

Q：女性活躍推進宣言を行っているが、社員総数、女性社員数、管理職数はいかほどか。

A：社員総数約 3100 名。女性約 340 名。女性の管理職者 5 名。

【所見】

敷地内の諸施設は、重大事故対策(地震、火山灰、竜巻、外部火災、航空機落下、内部溢水、内部火災)、冷却水の確保(放水砲の準備)、電源の確保など原発の施設とほぼ同じような安全対策が取られている。使用済み核燃料の再生手順の模型を見たり、ガラス固体化したウランの500キログラムの模型に触れたり、またその貯蔵施設など窓越しに見たが、盤石な体制になっていると感じた。ここまで嚴重にしないといけない原発の危険も感じた。

川内原発の使用済み核燃料、低レベル放射性廃棄物がこの六ヶ所再生処理場に搬入されることになるが、2022年の原子力規制委員会の審査に合格し、一刻も早く「トイレなきマンション」などと揶揄されないような原子力政策が確立されるべきである、と感じた。



【11月12日】衆議院会館(経済産業省)

【対応者】

経済産業省資源エネルギー庁
総務課戦略企画室
室長補佐 大田悠平氏

【視察の内容】

- (1) エネルギー基本計画について
 - ・ 2050年カーボンニュートラル実現に向けた課題等
- (2) 次世代エネルギーの今後の取り組みについて



【質疑応答】

Q：薩摩川内市議会では福島原発事故直前に川内原発3号機増設賛成の陳情書を採択したことがあったが、県により留保された状態となっている。資源エネルギー庁の見解は？

A：2030年までの大型新設はないと申し上げた。2050年に向けて政府の公式答弁としては新増設は想定していない。まだ先のことであるし情勢が見えてこない。社会情勢の中でどの程度原子力が必要か、必要であれば大型の原子力が決して否定されるものではない。

Q：洋上風力発電の被害状況はどうか。

A：日本ではまだ本格導入されていないが、ヨーロッパでは詳細なデータは出ていない。

Q：150万kWの出力を出すには、風力発電は何基必要か。

A：色々なパターンがあるため不明。

Q：風力発電の開発が進められれば森林伐採による災害が懸念されるが、経済産業省としてどう考えているか。

A：開発の是非等については自治体の判断に委ねたい。

Q：畜産はCO₂が排出されると言われており、代わって大豆ミートなどの開発を進める考え方もあるが、見解は？

A：環境省の管轄である。

Q：再生可能エネルギーについて、自治体で取り組むための条例化を指導しているか。

A：自然エネルギー庁の管轄であるが、各自自治体の判断に任せるべきと考える。

Q：MOX燃料の原料となるプルトニウム抽出について国際的な理解は得られるか。

A：現在のところ批判はない。プルサーマル計画は進めていきたい。

Q：使用済み核燃料の最終処分場について、文献評価などを行うわけだが、説明会開催を進められないか。

A：依頼されたら出掛けて説明する。

【所見】

おびたしいページの資料を提示され、簡潔明瞭な説明を受けた。2050年までにゼロカーボンにするという目標に向かって懸命になっておられるが何がベストなのか取り組むことが多くわからない感じがした。まずは2030年を目安にして様々な政策を立案されている。自然エネルギーを主力電源にという動きもあり、風力や、太陽光、蓄電池をセットに取り組むようだが、取組は自治体に委ねられるので自然開発により災害が起こることを考えると難しいものがあると感じる。川内原発の20年延長など審判を仰ぐ時が来るが、原発のクリーンエネルギーはやはり重要な電源であり、安全性さえしっかり確認できれば主力電源であると思う。

薩摩川内市長がゼロカーボンシティ宣言を発したが、企業等の努力も必要であるが、身近な生活の中でのCO₂削減に市を挙げて取り組む必要がある。地球温暖化防止に向けても市民レベルでの取り組みも提案できればと思う。

* 衆議院会館地元選出国會議員訪問



【森山 裕、鈴木宗男代議士を囲んで】

*小里泰弘代議士は、陳情者を国土交通省へ案内のため不在。



【宮路拓馬代議士を囲んで】

政務活動費領収書等添付用紙

			整理番号
使途項目	調査研究費	支出内容	1
(領収書等貼付面)			

領 収 証

No.408604

公明党 様

令和3年11月9日
 下記の通り領収致しました
 合計金額 ¥ 168,340 -

鹿児島市中央町18番地1
 南国交通株式会社
 電話 (099)255-2141



摘 要	金 額	備 考
視察費として	168,340	
消 費 税		発行部所
合 計	¥ 168,340 -	川内営業所 (0996)23-2161

(事業名、使途及び内容等) 11/10~12 青森県六ヶ所村等政務調査費
(備考)

調査研究費

政務活動費支払証明書

使途項目 調査研究費

支払年月日	支払額	支払先	使途及び内容	添付できない理由
R3.11.10 R3.11.12	3, 200円	南国交通	川内駅から空港までのバス賃（往復）	当日、乗車券を購入したため
R3.11.10 R3.11.12	2, 700円	南国交通	ねれ北から空港までのバス賃（往復）	当日、乗車券を購入したため
	円			
	円			
	円			
	円			
	円			
合計	5, 900円			

上記のとおり相違ないことを証明します。

令和3年11月12日


会派名 公明党

代表者 中島 由美子



調査研究費



市内旅費領収明細書

整理番号	日付	出張用務	起点～終点	旅費額	領収日	領収印	備考
1	11月10日 11月12日	会派視察市内旅費	隈之城～平佐西	220円	11/12		
2			～	円			
3			～	円			
4			～	円			
5			～	円			
6			～	円			
7			～	円			
8			～	円			
9			～	円			
10			～	円			
11			～	円			
12			～	円			
13			～	円			
14			～	円			
15			～	円			
16			～	円			
17			～	円			
18			～	円			
19			～	円			
20			～	円			

※薩摩川内市職員等旅費の支給に関する条例施行規則に準じて支出

政務活動費領収書等添付用紙

				整理番号
使途項目	広報費	支出内容	会派会報発行	1
(領収書等貼付面)				

領 収 証		№ 005155												
令和 4 年 / 月 / 日														
公明党 様		印 紙												
金額	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">百万</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">千</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </table>		百万		千		円	7	2	0	0	0	0	
	百万		千		円									
7	2	0	0	0	0									
但し														
上記の金額正に領収致しました														
 株式会社 オブセツト 代表取締役社長 宮 司 実														
本 社：〒895-0072 鹿児島県薩摩川内市中郷町6338-1 ☎0996-23-2513(代) FAX0996-22-7201 コピーセンター：☎0996-27-3418 FAX0996-27-3403														
		取扱者 												
(注) 社印、取扱者印のないもの並びに金額訂正複式でないものは無効です														

(事業名、使途及び内容等)
(備考)

2022年(令和4年)スタート!!

今年もよろしくお願いいたします!

寅年(とらどし)の今年。

逆境にあっても立ちむかう強さがある虎。

コロナ禍が続く中で、新生活ルールを守り
ながら健康第一の1年を!!



令和3年第5回12月定例会は

11月24日~12月17日 会期24日間

第13回補正予算：子育て世帯への臨時特別給付他 8億532万円

- ・18歳以下の子ども1人に5万円…年内給付のため12月7日可決
本市では、8,500世帯 約16,000人対象

残り5万円についても現金で給付予定 ⇒ 第14回補正で
非課税世帯、困窮世帯に10万円給付 ⇒
(本市では、18,000世帯程度)

第12回補正予算：15億4,657万9,000円

主な事業

(1) 新型コロナウイルス感染症対策に係る事業

- ・3回目ワクチン接種対策
- ・図書消毒機整備(中央図書館)
- ・WEB販売促進



(2) その他の事業

- ・旧国民宿舎解体事業(里町)
- ・ふるさと納税PR促進…今年度5億円の目標
- ・道路維持補修etc.



◆一般質問 12月2日(木)、3日(金)、6日(月)、7日(火)4日間 今回15名(26名中)登壇

中島 由美子 議員は
12月3日(金) 4番目に登壇^{だん}



1. 昨今の子ども予防
接種事業

(1) 母子モ アプリの登録状況
と接種状況

答 1,393件の登録
コロナ禍でも接種
控えない

(2) 任意予防接種の種類と補助額及び窓口での
支払いは

答 インフルエンザとおたふくかぜ
↓ ↓
2,000円の補助 3,000円の補助
(中学生までの
子どもと高校3年生)

おたふくかぜは、窓口で全額支払い、
その後、申請したら返金有

(3) おたふくかぜの支払い変更を

答 窓口で補助額を引いて払えるよう
医師会と協議する

2. 2022年4月から始まる不妊治療
の保険適用の内容は

(1) 本市の不妊治療申請者数

答 令和2年：254件 (内 男性31件)
令和3年：135件 (内 男性14件)

(2) 保険適用の内容が示されればしっかり周知を

答 広報誌、ホームページ、公式ライン等
通じて周知する



(第三総支部街頭 8月)

坂口 正幸 議員は
12月7日(火) 2番目に登壇^{だん}



1. 家族が亡くなられ
たときの諸手続き
の簡素化について

(1) 遺族として行う手続き等は

答 死亡届、年金、税金等
の手続き
(個人により違う)

(2) 手続きの状況と遺族の方への
サポート体制は

答 亡くなられた方の状況により手続きは
違うが、葬祭の際に必要な手続き等を
まとめたお知らせを配布。窓口でスム
ーズに行えるようサポートしている。

(3) 手続きをサポートする専用の窓口の開設は
できないか

答 2022年4月より組織見直しをするに
あたり、おくやみコーナー(仮称)設置
を考えている。

~寄り添いサポート事業~

6月議会で提案したことが実現。

100万円の予算がつき、市内11ヶ
所に生理用品と相談窓口などのお知
らせチラシを設置。

相談等に来られる方もあり、トイ
レに置かれた生理用品は利用多。

↓ ↓ ↓

市では継続していくために寄附を
募っています。

寄附の輪が広がりますように!!

政務活動費領収書等添付用紙

			整理番号										
使途項目	事務費	支出内容	/										
(領収書等貼付面)													
<p>領 収 証</p> <p>公明党 様 R4年 3月 28日</p> <p>★ ￥2275-</p> <p>但 JTO-用紙代として 上記正に領収いたしました</p> <table border="1"> <tr> <td>内 訳</td> <td></td> </tr> <tr> <td>税率</td> <td>金額(税抜・税込)</td> </tr> <tr> <td>%</td> <td>消費税額等</td> </tr> <tr> <td>税率</td> <td>金額(税抜・税込)</td> </tr> <tr> <td>%</td> <td>消費税額等</td> </tr> </table> <p>コクヨ ウケ-1048</p> <p>薩摩川内市御陵下町3751番地5 有限会社 ホシカワ 代表取締役 星川 千寿</p>				内 訳		税率	金額(税抜・税込)	%	消費税額等	税率	金額(税抜・税込)	%	消費税額等
内 訳													
税率	金額(税抜・税込)												
%	消費税額等												
税率	金額(税抜・税込)												
%	消費税額等												
(事業名、使途及び内容等)													
(備考)													